

中国蘭州市における都市開発と土地利用変化における意味 Urban development and its implication on land use change of Lanzhou City, China

土居 晴洋^{1*}, 柴彦威²
Haruhiro Doi^{1*}, Chai Yanwei²

¹ 大分大学, ² 北京大学

¹Oita University, ²Beijing University

シルクロードの歴史的都市である蘭州市は黄河流域にあり、甘肅省の省都であるとともに、中国内陸地域の最も西にある大都市である。蘭州市の土地利用は内陸地域の中心都市としての発展を目指す国家的政策のもとで、工業や住宅開発を通して変化してきた。

人口は計画経済に入って増加した。三線建設という国家政策のもとで、石油化学や重工業が設立された。1978年の改革開放政策導入以後、重化学工業都市としての性格は総合的中心都市へと変化した。1990年代以降市街地東部の低位河岸段丘上でスプロールの都市化が進展した。また、古い市街地再開発を目的として新しい住宅開発が行われている。中心部では商業住宅として高層建築が作られている。中心部から高速道路で1時間の距離のところに新しい都市開発が進行している。これは蘭州新区と言い、その広さは40平方キロメートルに及ぶ。

キーワード: 地域開発, 地形条件, 内陸地域

Keywords: regional development, topographical condition, inland area